



スポーツによる健康な社会づくりへ

“「カラダ動かし健康」支援アプリ”の構築 8/22(月)～ クラウドファンディング開始

❖ 概要

大阪大学大学院医学系研究科はREADYFOR株式会社と実施しているクラウドファンディングプログラム「大阪大学×READYFOR」にて、『いつでもどこでも安全安心なスポーツによる健康社会をつくるシステムの構築』を目指し、最終目標1,000万円のクラウドファンディングを8月22日（月）から開始しました。

今回のプロジェクトでは、コロナ禍により運動不足となった方々の安全安心な運動再開のきっかけとなる、インターネットを使っていつでもどこでも誰でも利用できる運動指導や運動効果のわかるシステム“「カラダ動かし健康」支援アプリ”を構築し、スポーツによる健康な社会作りを目指します。

また、大阪大学が実施してきたスポーツ医科学研究・教育の成果として、安全安心のスポーツにより健康を促進する社会システム構築のCSCモデル事業を目指します。

❖ 「スポーツによる健康社会づくり：地域、世界住民参加の

大阪大学CSC（サイバー・スポーツ・コンプレックス）モデル構築」の背景

COVID-19パンデミックにより、すべてのスポーツが中止となったことや、世界中がStay Homeやロックダウン政策により運動不足・身体不活動が深刻化したことで、感染と身体不活動の二重パンデミックと言われる2年間が続きました。怪我からスポーツ競技への復帰と同じく、長く続いた運動不足から高い身体活動に戻るにはリスクも伴います。withコロナの中、安全で高いレベルのスポーツ活動再開をめざして、大阪大学がスポーツ庁とともに東京オリ・パラまで実施してきた『スポーツ研究イノベーション拠点形成事業(SRIP)』の研究成果や、プロスポーツ選手の治療で培ってきたノウハウを、広く多くの人に役立てたいと考えています。

大阪大学では2017年に「サイバー・スポーツ・コンプレックス（Cyber Sports Complex：CSC）構想」を提案し、スポーツを通じた健康促進の新たな社会価値を創造する活動をスタートしました。

CSC構想とは、スポーツ施設や学校、病院、オフィス、家、行政、ショッピングモールなど街全体がサイバー空間でつながり、健康促進のために機能する複合体の構築を目指す構想です。

例えば、スポーツ中の熱中症や不整脈などを、スポーツ選手が身につけたIoTセンサーからの情報で早期発見、予防、治療できることや、膝関節手術後に自分の歩行からランニングまでのリハビリが腰やシューズにつけたモーションセンサーや映像の情報解析により、病院に行くことなく、家や日常生活にてスマホでデータや解析結果を確認しながら安全に確実に実施できることなどが、CSC社会の中で実現しつつあることです。

Press Release

❖ 本プロジェクトが目指すもの

コロナ禍により運動不足となった方々の安全安心な運動再開のきっかけとなる、インターネットを使っていつでもどこでも誰でも利用できる運動指導や運動効果のわかるシステム「カラダ動かし健康支援アプリ」を構築し、スポーツによる健康な社会作りを目指します。

また、大阪大学が実施してきたスポーツ医科学研究・教育の成果として、安全安心のスポーツにより健康を促進する社会システム構築の CSC モデル事業を目指します。

❖ クラウドファンディングプロジェクトについて

- 【タイトル】 「スポーツによる健康社会づくり：地域、世界の住民参加の
大阪大学 CSC（サイバー・スポーツ・コンプレックス）モデル構築」
クラウドファンディング HP タイトル
「スポーツで社会がつながる～健康促進のための社会システム構築を目指して～」
- 【URL】 <https://readyfor.jp/projects/handai-csc>
- 【実施主体】 大阪大学（中田研：大阪大学大学院医学系研究科 スポーツ医学教授）
- 【目標金額】 第1目標 300万円、第2目標 600万円、第3目標 1,000万円
※大阪大学へのご寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。
- 【寄附募集期間】 2022年8月22日（月）10:00～10月21日（金）23:00 【61日間】
- 【形式】 All or Nothing / 寄付金控除型
※All or Nothing 形式は、期間内に集まった寄附総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が支援金を受け取れる仕組みです。

寄付金控除型 #大阪府 #社会にいいこと #子ども・教育 #医療・福祉 #スポーツ #寄付金控除型 #大学 #研究

"安全安心"の、スポーツによる健康社会づくりを目指して | 大阪大学

 中田 研（大阪大学大学院医学系研究科 スポーツ医学 教授）



寄付総額

0円

目標金額 3,000,000円

0%

寄付者 残り

0人 60日

 フォローする

最初の寄付者になりませんか？

プロジェクトの寄付にすすむ

 シェア

 ツイート

 LINEで送る

 noteで書く

Press Release

❖ このプロジェクトの目標について

第一目標（300 万円） 「安全で効果的なスポーツ、トレーニング情報の提供と共有」

大阪大学で研究開発された体、脳、こころが元気になるトレーニングや、簡単に家で安全にできる運動方法などをインターネットや YouTube の動画等で情報を提供して共有します。安全かつ効果的にスポーツや身体活動ができる機会を増やすことを目標とします。（2023 年 2 月以降実施予定）

第二目標（600 万円） 「(第一目標に加えて) 身体活動の量や質の評価、研究参加」

体につけたモーションセンサーや心拍センサー（ウェアラブルセンサーデバイス、WSD）や、体を動かしている映像から身体活動の量や質を評価します。例えば、スポーツ活動を行った時や普段の日常生活での身体活動の量や質の数値化と解析を知ることができます。また、身体活動により健康を維持・増進するための研究に参加することもできます。

第三目標（1,000 万円）「(第二目標に加えて) 身体活動の評価記録、健康へのアドバイス」

モーションセンサーや心拍センサーなどウェアラブルセンサーデバイスで自分のスポーツ活動や運動、普段の生活の身体活動解析結果がインターネットを通じてクラウド上に記録されます。いつでもどこでもスポーツ能力向上や健康の維持・増進のために進捗状況や解析結果が自分で確認でき、健康になる方法のアドバイスが得られます。



❖ 研究者のコメント（中田 研 教授）

このクラウドファンディングにて、東京五輪でも活用されたその成果や、コロナ禍でのテニス大会、高校野球、大阪大学健康スポーツ教育でも使われている安全にスポーツを実施する方法などを、世界中の人が利用できるアプリにします。正しく安全に効果的に体を動かすことは健康に必要です。皆で力を合わせて、この with コロナ、地球温暖化のなかで、安全に楽しく世界中の誰もがスポーツ、身体活動ができて、健康で活動的な社会となるようめざしていきます。皆様のご支援をぜひともお願いいたします。